



SPT: サポートティブ・ペリオドンタル・セラピー (補完的歯周治療)

最近では特に歯周病の患者さんで「定期検診やメンテナンス」という用語に代わって「サポートティブ・ペリオドンタル・セラピー (supportive periodontal therapy : SPT : 補完的歯周治療)」という用語を使うことが、国内外の歯周病学会から提唱されはじめています。

SPTは、歯周病治療後の再発防止と、再発が起ってしまった場合に早い段階での適切な処置ができるための、連続的な経過観察と予防処置を行っていくことです。歯周病のリスクが中～高いレベルの患者さんが特に対象になります。1～3ヶ月程度の短い間隔で、健診とメンテナンス処置 (PMTC (プロによる機械的歯面清掃)、歯石除去等)、清掃指導等を衛生士が中心に行なっていきます。



左下のグラフはSPTを受けた患者さんと受けなかった患者さんの歯を失った割合のグラフです。SPTを受けなかった患者さんは、SPTを受けた患者さんよりも歯を失う割合が大きかったそうです。

歯周病は症状が出にくい病気で、腫れる、出血する、歯が揺れる等の症状が出たときには取り返しがつかないところまで進行していることがあります。日頃のご自分によるセルフケア (歯磨き) が最も大切ですが、専門家によるメンテナンスで歯が長持ちする事がわかってきていますので、多くの皆様にSPTを受けていただける様に、説明をしていきたいと考えています。

